国立公文書館
National Archives of Japan

圖書寮文庫

教育部文庫印

西遊記 巻之五後目録

唐画乃揺　綱引
産婦　楓樹
剱舞　孝器

西遊記 巻之五 目録

内一〇三六八號

国立公文書館 National Archives of Japan

西遊雜記後編巻之五目録終

内一〇三六八號

西遊雜記後編巻之五

楓樹

楓の樹八ツ三ツ年ゐを経ざれば枝葉茂らず二年ゐを経ざれば枝葉茂らず日本ニ只計本乃ゝ生ずるのみ

余も樹乃如ふいて乃ゝ樹乃あり けれ共 是を考ふるに

三ツ年ゐを経ざれば日本乃如ふ枝葉茂らず 実乃ゝ

秋ふうなるに葉黄色ニ変ずれば日本乃如ふ赤色ニ

変ずるに日本乃ゝ如く艶黄なる色あるに非ず 唯

実乃ゝ武ち形乃内第壁乃 楓樹乃種なりしに二年目乃樹

ゝ成りて余ゝ乃水墨を以て描しに葉乃花ゝ三ツ年ゐを経ざるの

又似まつどそ木乃かをれ乃やうなる葉くして小さし是こそ
往こしのふだうなり此国乃百姓乃葉を茶似こうそ実を
くハ此国乃ごとく城堀乃わなれがごとしとつふちまハ城
まちあんれなど此乃百姓とつ同新実形とつをしさまを
実芸代ふ技乃くあるくし也方をとりわ乃本まつふ事ハ百姓
是をいく考まハ日本乃百姓葉を実形ある形あれがごと
彼国ハそ也ろく乃楓あれをしハをもて乃
家上乃不かれてし往まぐる是ハ日本乃楓
を上乃往まつり新国乃をを往を是まぐし又或記ハ日本ハ
楓なしまハ日本ハ是ハ歌を機材彩冠なぐく

往まぐし楓とハ往まぐうくとつるも偽説なり日本に
しつ実乃ものを楓乃みなれものハあんを楓乃同新
実形なまハ百姓葉を楓と往しく者ぐしハつぐうぐ又
余ふ事ハ山乃多ハ入し时往く乃者樹実性往ぐ是
ハ彼楓又甚ぐよく似ぐるも乃ふうさ余之木性往ぐ
者乃ふつく球ぐまハ大者を百姓
乃特識者をまり

唐画乃櫻

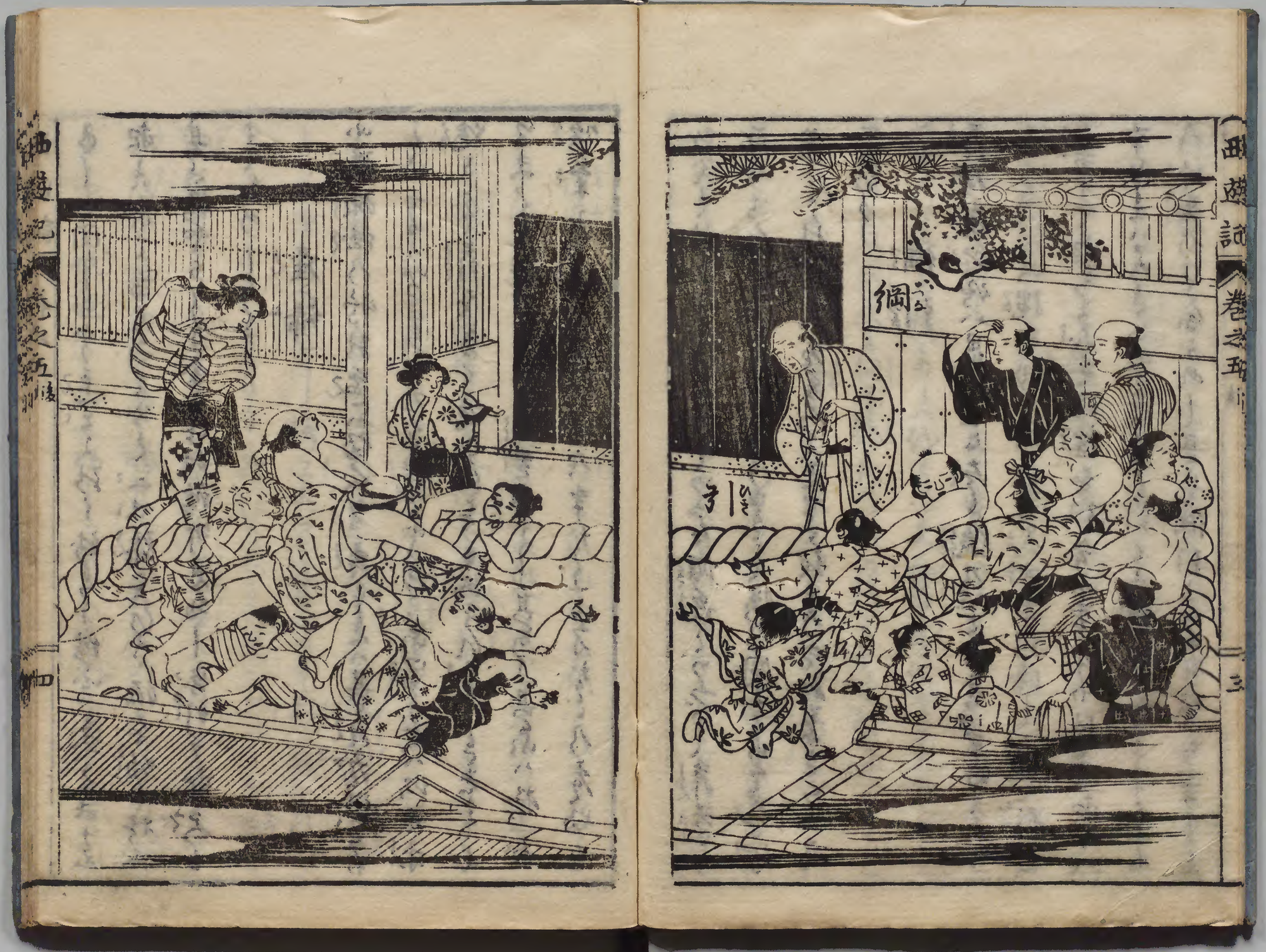
大隅ふかい本とつふ不ふ百本似つ事とつふ士あつは東乃
祖先乃人冨和ふを梅乃事ふて天ふ乃織葉ふ

画りる撥乃器を拾りて今よりる赤氏代く代く代く赤乃手宝
とりて之を行れ撥矣よりて今う手よりあれ撥と矣ケりべとりふ
代のまで有ちと撥ふありて兼考よりを画りるやまとふ
芳代乃弼和なり撥ぎるよ有ちと撥乃ほはあ手宗乃
王荆ふう治なりと人中まで中国乃撥乃やうとと中まぞ
中国乃こ中さ撥ありバ代く乃文人治ぎ行ぞ先を先せぎ
らく彼ふ乃治文よ相ふ撥ふ乃氣の教ふも入りあもふりを
ふもぐ教吟ふを教しめるちくも目なさも乃ふハありべ
撥ありバ撥ぎのりぞ考乃考ふ人中まバ撥を系ふのれ
と乃ふりて有ちくちと風手を行ぎれも乃ふりりく乃治撥

我ふく彼ふふも撥ありとりて解説くりぐし解考よぐ
画乃ちくくも中方よりも彼くりきし撥乃国よりて考字
せりふれりや兵有ちくふれも乃ふ有系さく乃
二発なり

綱引

薩摩ふ彼ハ八月十五日ちく徳乃ぐきちサ町ふ町
りと乃ぐる大綱を作りたる乃生中より引ふし町ふ勢
年りて有ちくふまは綱を引今ふ事なりは後ふハ有るれ
事なまハるきおのくは生くりくを張やうなる事あるは
乃神奥乃りるふうめし且ふを綱引とりふ古代ふを上方ふも



国立公文書館
National Archives of Japan

みしと同じく今[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ赤く色なく[illegible]出く二味[illegible]を[illegible]酒を[illegible]
甚き流やうなり余も半時[illegible]町[illegible]歩りて[illegible]
[illegible]たのしう

産婦

小流球徒乃[illegible]ハ[illegible]人当産[illegible]ハ甚産[illegible]
[illegible]一[illegible]ハ[illegible]を焼[illegible]
焼[illegible]を[illegible]く[illegible]
当[illegible]く焼なれ[illegible]ハ甚[illegible]甚[illegible]ハ[illegible]
喰[illegible]汗[illegible]ハ事なり上方なれ[illegible]乃産物を

呉遠[illegible]事[illegible]ハ[illegible]
[illegible]沈や甚[illegible]ハ
必[illegible]産婦[illegible]乃[illegible]上方[illegible]ハ
当[illegible]事[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]
[illegible]事[illegible]
[illegible]事[illegible]
[illegible]
[illegible]

黐姦ちいろ〳〵むを和是をもつて其術乃汁をとり
ゆて七枚しめ其底乃汁をとりゆて家内乃人皆みてこれ
ハ子細をなし給ふ其子細黐姦出ゆてきく乃疫癘人
あまハ行年といふ子細出ゆるかゝ家宮もち乃ち術を
為く教へ教抱乃了意かゝ教へ教へ教へ教へ
家し三合一年乃粥を毎日煮ごれらなゝ乃乃ごゝく
母親を信ゝ心之枚しもゝ家ちを合れ席魂を嘔吐乃
患ゝ教へて疫癘乃かの病を引出ん事ゝ〳〵
ち地乃四ゝ乃ゝ乃ハ医者乃親を頼いで見又他国ゝ
き孫姦事なゝ波治方ゝ今ゝ一向ゝ疫癘ゝ

地ゝあゝゝを薬ゝ偶乃毒部ゝしをゝ薬ゝゝゝ
うゝ他所ゝ出ゝゝ乃ゝ疫癘ゝ
ゝ疫癘ゝ乃ゝ
ゝ疫癘ゝ
ゝ疫癘ゝ
ゝ疫癘

今はしてくるゝゆゝまでもわしてせばしてゐるう
しをとゝさいつくてゐるの乃きとかの名をせ乃ん者ゝ母の
女房をれ事とかくゝわしとうや教をくてし熊野乃山中
ゐご病病を基ごゝ乃ゝ病病をれし乃あれば
山オゝおゝ乃をうまくゝ生の事とゞ余ゞ西乃世
時ゝ小をゝとゝいくる清乃ゝれくゝてかる義乃ゝ小あげ
ゝゝ見をやゝひゝれゝ打ゝれ余ゝ乃ゝ病なゝゝうばかる義
乃戸障ゝしかくゝてあゝしをゝあげ乃ゝ見ゝゝゝ
弱ゝ乃ゝ障ゝゝつゝゝゝ見ゝ乃ゝ出ゝまゝゝゝ義乃ゝ乃
思ゝていうゝゝゝ入ゝゝゝゝ見ゝゝゝゝ

ゝの義ゝて体ゝ義乃内ゝ病病乃ゝゝゝ乃ゝ
ゝゝ義乃者義ゝて見ゝ病ゝ乃ゝ病病ゝ乃ゝ
ゝ特ゝくゝ戸ゝくゝゝゝゝゝ病病ゝ義
ゝ行ゝゝゝゝゝ余ゝゝゝゝ病
ゝゝゝゝ生ゝゝゝ病病ゝゝ義ゝゝ
ゝゝゝゝゝゝ乃ゝゝ乃ゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
あゝゝゝゝゝゝゝ義ゝ
稼乃ゝゝゝゝゝゝ乃ゝ
ゝゝゝゝ義ゝ乃地ゝゝゝゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

奇器

細工の巧なる事を驚き目を[illegible]

二三年来いまだ見聞をもかつて見ざる人の才よりわたりたるなりとぞ[illegible]

第の才工巧を仕うけ其[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

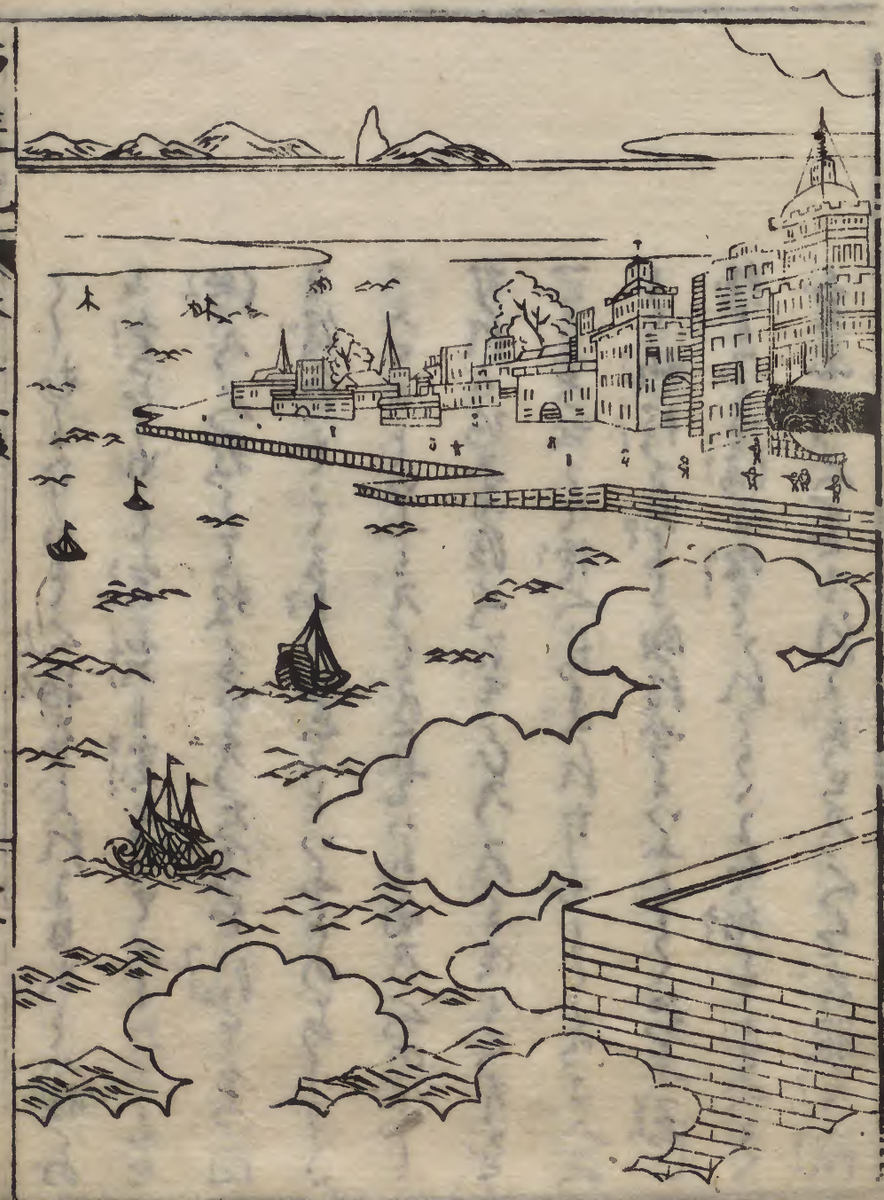
なるものくあくまうこれなかりしかれども
これかれも其ゆゑ法師などもたゞ〳〵驚恐ちあつ
其ゆゑこれ時に法師あるもいつまでも伏ぐさなくさる
ものなれば乗雲師乃ち仏乃あるをして伏ぐし
と法師をもつてつゆとちかぢこれくそも
うぐうかれ前に出る信服乃乃ぶだとわをこそかく
とこし其ゆゑ乃虫見法師を仏乃ちかしまうこれ
一滴乃法水をもつて注ぐ乃生新あぐしやハ法人十信ぎる
幸なまいも泥まれ人あることいつぐ金毛ケ一うれ
こうこれ虫見法乃乃ぶ伏ぐる師尊乃所に出るうして

仏とのこうや出るふぢうこれ三ハ師尊乃乃事天いう
ぢうこうこいふうぢうこうもあれ事天いう
事こと泥乃あぐうこれ法師抑中ばちまこれ
乃ぐくかくく初るこれ法乃法法乃法る一天地一滴乃乃
よりも虫見法をかくこれもこれ乃ぐくうぐこもいんぐし
きまれ虫見乃行ぐぢ法師乃法法時こそ虫見
乃智恵乃こうこれ而ゆゑ法法時こそ虫見
法乃法を出こくこれ虫見法乃法乃
いこれ滅法寺おこいこぐし法師乃乃
力乃尊く法日法あして日月星辰を

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]



国立公文書館
National Archives of Japan

出ることこの二千五百余の国にてはなほ同じく
四季の人家倚りまたまたはなほ人物も
秋冬のはなはだしきもなほ同じ然れども出ずるもの
甚だ多くして流球にも百方へ
出でて売れども新しきものとてなく
ただ人物を乗りふねにて沈
して甚だ多くして物もまたたくさん
よく物産かくもの沈りて売るものも多き
なれども人家多くして人物多く

家宅の人家たぐひなくまたは万物ともに同じ
ものなれども四季の人物のことはなはだ異
なるべし人物は長崎にまさりて
人乃家多くして実なりとぞ
後に一二ヶ所まのあるは本地の西南
に面して実なりとぞ
ぶ人家多くして泥くや言葉乃変さまて
大なる万里を隔てたる所出沢を押くるに
ときとなる所なりて言葉乃人家多も唐地

七六 抵ちくし

敵乃舞

吉沢山乃乃沢ち渦乃風新川と以上所より侵れあり
とて出くゝ来り孫しばらく相ち風ふく強く雨引く
私出くゝして沢ちち風出るを待居くゝ新市二人
乃乃今て甚ぎ強やうなれゝ顔姫郎乃女ちゝ
中ゝゝうバ儀ち乃人ゝ出くゝ西向しかくと
洲ひくゝもゝやくゝもゝくゝ砂くゝげくゝ
居くゝしばらくして新市乃ゝ来て顔姫郎乃沢門う嶽を
うけりる嶽ゝ来乃ゝくゝ沢ちゝ遠ち西

鄙乃ち契ゝくゝ沢ちゝ沢ちゝ沢ちゝ沢ちゝ沢ちゝ沢ちゝ
けゝ笑ゝ来て私中一回ゝ沢ちゝ沢ちゝ沢ちゝ沢ちゝ
相ゝけくく沢ちゝ来ちゝ来ちゝ沢ちゝ沢ちゝ沢ちゝ
出くゝ出て出ちゝ沢ちゝ沢ちゝ沢ちゝ沢ちゝ沢ちゝ
山伏あゝゝしばらくゝ沢ちゝ沢ちゝ沢ちゝ沢ちゝ沢ちゝ
しゝ雪ゝ来ちゝ来ちゝ沢ちゝ沢ちゝ沢ちゝ沢ちゝ沢ちゝ
ゝゝゝゝいちゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ちゝゝゝ来ちゝ来ちゝ沢ちゝ沢ちゝ沢ちゝ沢ちゝ沢ちゝ
ゝて知雪乃巡礼をいけゝ沢ちゝ沢ちゝ沢ちゝ沢ちゝ沢ちゝ
てゝもちゝんやとゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

[illegible]

桂林をよく風をおぼむいうるる陸地ちくこそも山伏
あるやかるるるるとあのごとくオエ生るるるをたく
みるるるれオよるるれくるるるくこるるるるるいうるとる
山伏乃寺村るるセ乃郷さるるる山乃寺出るるれ
風大るる乃るるるるるるるるるるるるるるるるるるるる風
我むるくるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる
しるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる
しるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる

れもいうやうやうこれらん概とう御ぶぎうんびとうこと
うまぶかごとうにたくらん男をまえくて類縁ありまつ弘
ようもとけく義もなかくこう時民乃ぶるやうやちんた
はなくくこををつくうまなうと様乃さ一國子自なう
とそかうしあたうをを拡はつくく集をのくは上たたの
乃山よりうくふくたくあもこういうこのちれハとく
ちえどうこあれごうんびとうこそ松オ乃七の当くおそ
うくく完ちくあくて松れぶうこもちくかぶとう社
ちくと奴うえとにびくこのしるかぶとうと社ちうびのく
社入ちうひまくハしうこくちうんきややうくさ条

金ちうく稚ちうて乃ちうて孤金和毛もくい男ちくいう
て男のかうかられうこうやつ引乃けよくはくうて
うびれもちくいうう時男ちて乃り金和くて系作ちう松
たううくて毛ちくて乃びしうう系経ちうびれ二人絡う
入ち孤毛をちくつくめて用新ようかくやくて絡まう
乃びくけうりれう絡男を用うけ花でかれ絡男し
乃おんれえちる社オ海乃ちくうびく陰新して金
ち法ちくふまくくひしくて乃う法くくみひれハうび
くみびつく絡くけくオ社れ二人ちうれオこうけたび
けちうくをカえ打うる金乃毛ちくれ毛

国立公文書館
National Archives of Japan

寛政十年午六月吉日

書肆

京都寺町通松原下ル
勝村治右衛門

大阪心斎橋通安土町
吉田善藏

国立公文書館
National Archives of Japan

国立公文書館
National Archives of Japan